

持続可能な未来への道

メーカー各社 SDGs の取り組み

Vol.14

アメリカン電機株式会社

今や、企業の共通言語となりつつあるSDGs。とりわけ、電設資材メーカーとの親和性は高く、2030年までに達成することを目指すSDGs17目標のうち「07:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「08:働きがいも経済成長も」「09:産業と技術革新の基盤をつくる」「11:住み続けられるまちづくりを」「12:つくる責任 つかう責任」「13:気候変動に具体的な対策を」などは、電設資材メーカーの企業活動そのものとも言えます。



そこで、全日電材連賛助会員の電設資材メーカー各社を順番に訪問し、その先進的な取り組みをご紹介します。

アメリカン電機株式会社 概要

本 社 所 在 地：東京都大田区北嶺町 41-16
 創 立・ 設 立：1926年（大正15年）3月 1日 創立
 1939年（昭和14年）4月21日 設立
 （株式会社に改組）
 代表取締役社長：小池裕二
 従 業 員 数：106名（2025年4月現在）
 事 業 内 容：電気機械器具製造ならびに販売
 H P：https://www.americandenki.co.jp/

沿革

1926年(大正15年) 3月 創立 アメリカン電気商會と称し、営業所を銀座に設置
 アメリカ製配線器具や照明器具の輸入販売に従事
 1929年(昭和4年) 4月 大森区堤方町2000に工場を新設
 『PRESS』印を商標として、埋込式配線器具の国産化を開始
 1939年(昭和14年) 4月 法人組織に変更、商号を株式会社アメリカン電気商會
 と称す
 1940年(昭和15年) 12月 東京中島航空兵器株式会社の協力工場として、航空機
 用電装部品の生産に従事
 1945年(昭和20年) 4月 空襲により被災全焼
 1946年(昭和21年) 4月 現在地、大田区北嶺町41-16に工場を新設
 戦前の埋込式配線器具の生産に復帰
 7月以降、商工省の生産指示に基づき、製品の大部分を進
 駐軍用配線器具として、交易営団及び特別調達庁に納入
 1948年(昭和23年) 5月 商号を株式会社アメリカン電気商會に戻す
 1965年(昭和40年) 8月 商号をアメリカン電機株式会社に変更
 1969年(昭和44年) 12月 現在地、大田区に本社工場新社屋落成
 1974年(昭和49年) 7月 千葉県安房郡三芳村本織1672に千葉工場建設
 1984年(昭和59年) 11月 千葉工場、本格稼働開始
 1999年(平成11年) 9月 千葉工場、新棟完成
 2000年(平成12年) 7月 ISO9002取得
 2001年(平成13年) 7月 ISO9001取得
 2001年(平成13年) 10月 千葉工場、千葉県労働基準協会連合会より、安全管理
 優良事業場として表彰を受ける
 2004年(平成16年) 7月 ISO14001取得
 2007年(平成19年) 10月 本社、無災害記録4000日達成
 千葉工場、新倉庫棟竣工
 2012年(平成24年) 6月 千葉工場、中央労働災害防止協会より、無災害記録
 5400日に対して金杯を受賞
 2016年(平成28年) 3月 アメリカン電機株式会社 創立90周年記念式典を開催
 2022年(令和4年) 4月 アメリカン電機品質管理システム(A-QMS)制定
 2023年(令和5年) 5月 千葉工場、無災害記録8000日達成
 千葉工場新成形成棟竣工



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な社会の実現に向けて 包括的にESG活動に取り組む

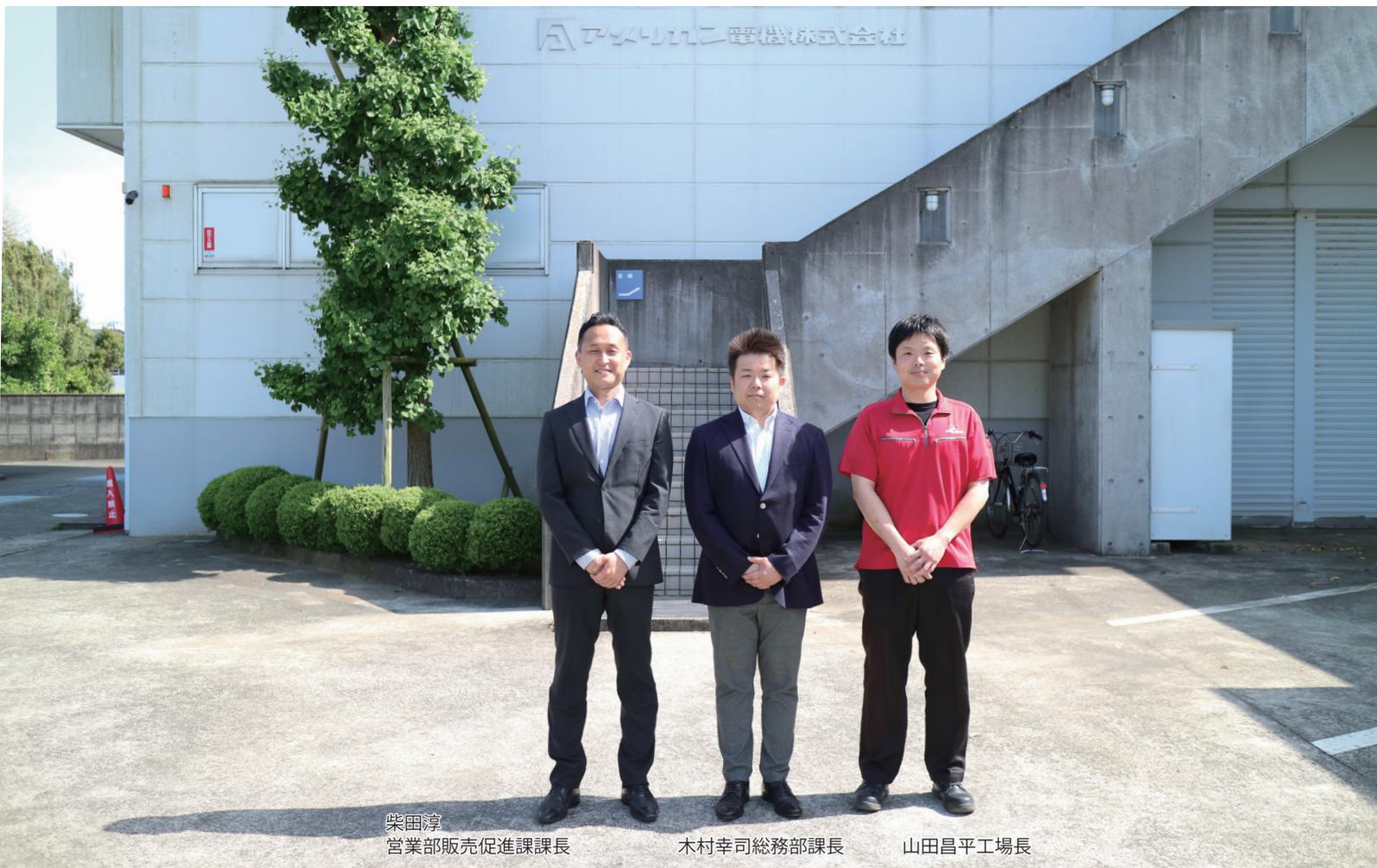
第14回の訪問メーカー様は、1926年に創立、来年(2026年)創立100周年を迎える老舗配線器具メーカーのアメリカン電機株式会社様です。

1929年(昭和4年)より、『PRESS』印の商標で知られる埋込式配線器具の生産を開始、これまでに数々の配線器具新製品を世に送り出してきました。

中でも、同社の主力製品である「引掛形」配線器具は、ラインナップの豊富さと高い品質に対する信頼性から、この分野でのトップブランドとなっています。

千葉県南部、JＲ館山駅から車で10分程の距離にある千葉工場において、柴田淳営業部販売促進課課長、木村幸司総務部課長、山田昌平工場長の3名からお話を伺いました。

(文中での敬称は略させていただきます。)



柴田淳
営業部販売促進課課長

木村幸司総務部課長

山田昌平工場長

■アメリカン電機株式会社概要

編集部

アメリカン電機様は本誌初登場となりますので、簡単に会社のご紹介をしていただけますか。

柴田 当社は、1926年(大正15年)にアメリカン電気商會として創立。その当時、電気事業の最盛期だったアメリカ製の配



線器具や照明器具の輸入販売を行っていたことが、社名の由来となります。1929年に配線器具の国産化を開始し、

1965年に商号をアメリカン電機株式会社に変更して以来、製品開発から製造、販売にいたるまで社内で一貫して行っており

ます。当社製品の特長としては、品質や施工性にこだわった、安全性・快適性の高い製品であることが挙げられます。中でも、当社の主力製品である「引掛形」配線器具は、プラグの刃が円を描くようなR状になっており、コンセントに差し込んだ後、右に回すとロックされて抜けなくなるのが特長で、約70年前より先駆的に製造してきました。その機能面だけでなく、豊富なラインナップと優れた品質に対する信頼性から、各種工場や情報通信設備など、常に安定した電力供給を望む様々な場所で利用されています。

■アメリカン電機のSDGs

編集部

まずは、SDGsに取り組む事になった契機を教えてくださいいただけますか。

柴田

当社では、かねてより、「環境問題」を重要な経営課題に掲げ、環境配慮活動に取り組んでいます。2004年には、本社・千葉工場ともに、環境マネジメントシステム認証のISO14001を取得、継続してシステムの運用・維持・改善に努めています。

その後、世界的にSDGsの機運が高まってきたのを契機に、2022年4月にSDGs推進委員会を社内を設置、2024年3月には同委員会をベースに新しくサステナビリティ推進委員会を設置しました。

現在は、環境配慮活動のみならず、社会・ガバナンスへの取り組みを含め、持続可能な社会の実現に向けたESG活動と

して包括的に取り組んでいます。

編集部

具体的にはどのようなことに取り組んでいるのでしょうか。

木村

SDGs17のゴールのうち、次の6項目に着目し、それぞれ取り組んでいます。ただ、SDGsを契機に新しく取り組み始めたわけではなく、以前から取り組んでいたことをSDGsに当てはめた形になります。

3…すべての人に健康と福祉を

● 第三者による定期検査の実施

(騒音有機溶剤特化物)

● エコキャップ運動

● 定期健康診断受診

● 人間ドック受診

7…エネルギーをみんなに

てクリーンに

● 太陽光発電システムのメンテナンスと発電量の確認(本社

及び千葉工場)

● 節電活動

● フランジインレットPR活動

8 働きがいも経済成長も

● 女性活躍の推進

● 研修受講の推進(社員の自己啓発への取組み支援)

● 改善提案の推進(報奨金及び優秀な提案に対する表彰金の授与)

11 住み続けられるまちづくりを

● 廃棄物適正処理と削減(分別回収の徹底や定期的な処分場の視察など)

● 市区町村、日本赤十字社への寄付

● BCPの維持管理

12 つくる責任 つかう責任

● 有害化学物質管理(RoHS指令の順守など)

● ナイロン樹脂リペレット材料用によるリサイクル

13 気候変動に具体的な対策を

● CO₂排出量削減

● 電気使用量削減

● ガソリン使用量削減

● フロン排出抑制法順守

● 環境実績データの周知・啓発

柴田 目標8に関して補足しま

すと、有給休暇を法定の5日に1日プラスした「年間6日以上取得100%」も推進しています。



山田 さらに、ここ千葉工場にお

いては、地域社会との関わりという観点からもSDGsに取り組んでいます。具体的には、本織祭という豊作祈願のお祭りにおける休憩所の提供や地域活動への参加、災害時の地域住民への電源提供・市区町村への復興支援金寄付、地域住民の雇用などを行っています。

SDGs達成目標

編集部 SDGs達成目標があ

れば教えていただけますでしょうか。



柴田 環境面における数値目標

としては、「2034年までに2021年度比58.8%CO₂削減」との中期目標を定め、2024年度はマイナス20.0%の実績でした。

木村 ただ、例えば、空調を絞

って環境が悪い中で仕事をさせていくとした、我慢して目標を達成するのは、本末転倒ですからやめようというのが社内の共通認識としてあります。達成できない目標も当然出て来ますが、公表することに意義があると考え、全て公開し、周知を

図っています。

■商品面の取り組み

編集部 商品面の取り組みはい

かがでしょうか。

柴田 当社の、「フランジインレッ

トシリーズ」を新しい電気エネルギーギ어의利用や製品・機器の創造、環境改善に貢献する製品と位置づけ、そのPR活動が、SDGs目標7の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に繋がると考えています。

フランジインレットは、栓刃がある逆心タイプの受け側（機器設置側）の器具です。コネクタで受電をする形態で、フランジインレットを取り付けた機器側ではケーブルを必要としません。そのため、非常時給電やグリーンスローモビリティ（カート）、移動式宿泊施設など、ケーブルを無くしたい施設や車などの受電口として利用されています。

なぜ、逆心タイプかと言いま

すと、外部から受電する際に

充電口がメス側だと、両端がプラグのコードセットになりますから、例えば金属に触れた際に通電して重大な事故につながる可能性があります。通電事故防止のため、逆心になっています。

近年は、V2Hシステムや災害時の宿泊施設として利用されることの多いコンテナホテルなどで採用されることも多くあります。

編集部

SDGs商材を拡販するための電材卸会社様への要望は。



木村 基本的には当社の経営方針に従って取り組みを続け、環境や社会に貢献できればと思っています。

環境に関しては、積極的な投資とできる限りの取り組みは既に行っているため、より高い目標を目指すためにどうすればよいかを常に考えています。



柴田 まさしく今の時代にあつて

いる商品だと自負はしていますが、かなり特殊な製品になりますので、PRが難しいという課題を抱えています。当製品の良さ・付加価値をお客様にお伝えして頂くことで、商機に繋がっていただければと思います。

■SDGsの取り組み

将来展望

編集部 SDGsの取り組みにつ

いて、将来展望をお聞かせいただけますか。

柴田 環境関連の動向は常に変化していますから注視していく必要があります。ただ、本業はあくまでも製造業ですから、配線器具メーカーとしての特性を活かした新たな需要と供給を模索し、更なる未来を見据えながら、持続可能な社会の実現に向けてESG活動に取り組んでいきたいと考えています。

たいと考えています。



SDGs

いちおし

商品



フランジインレットシリーズ

アメリカン電機のフランジインレットシリーズは、移動用機器や充電装置などの受電口として最適な、15～100Aの逆心タイプの配線器具です。給電側にメス側器具のコードコネクタボディを使用し、機器や壁面などに設置したフランジインレットにさし込むことで電気を供給します。



フランジインレット



防水形フランジインレット(耐じん・防噴流形)



詳細はこちら➡

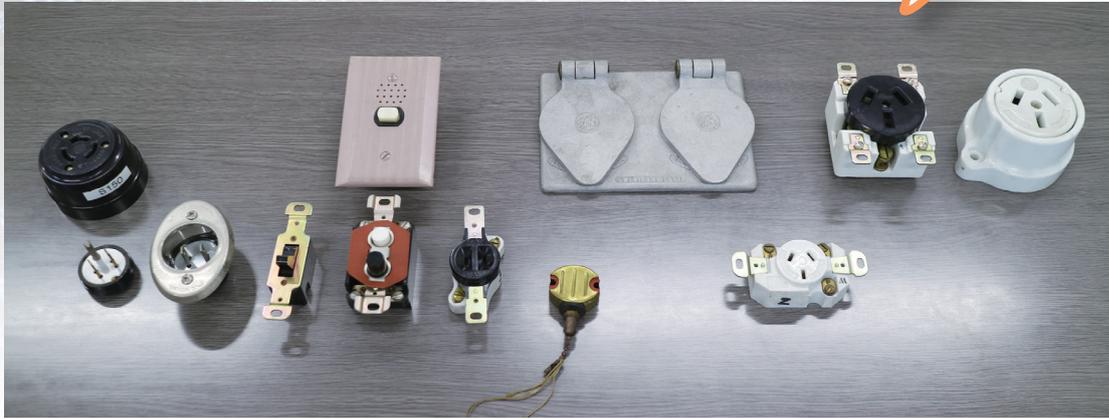


会社のお宝

ご紹介



創業初期の商品群
(埋込式配線器具他)



製品カタログ
変遷(1954年～)

